

夏期日本語教育報告

2020 年度夏期日本語教育報告

夏期日本語教育主任
金山 泰子

1. はじめに

2020 年度夏期日本語教育（以下 SCJ）は、世界的なコロナウィルス感染拡大の影響を受け、キャンセルとなった。現在（2020 年 11 月時点）もなおコロナウィルス感染は収束していない状況であるが、SCJ では 2021 年度に向けて、オンライン開催の可能性を含め検討しているところである。

以下では、2020 年度に予定されていた SCJ のコース概要について報告する。

2. 予定されていたコースの概要

2-1 日程・スケジュール

2020 年度 SCJ は、通常よりも期間を 3 日間短縮した 7 月 6 日から 8 月 4 日の開催を予定していた。同時期に予定されていた東京オリンピック開催期間（7 月 24 日～8 月 9 日）との重なりから予想される、交通の混雑や渡航費の入手困難などの問題を極力避けるためである。しかしながら、5 単位が認定されるコースであることから、通常の SCJ とほぼ同じく 74 コマの授業数を確保した上で、上記スケジュールを設定した。

2-2 クラス編成と講師

通常 SCJ では C1（初級）から C7（上級）および C-sp（継承語としての日本語）の全 8 コースを開講しているが、2020 年度は上述したオリンピック開催期間との重なりから、プログラムの規模を縮小することとし、C-sp を開講せず、C1 から C7 の 7 レベルを開講することとした。外部からの 12 名の講師、JLP 専任講師 2 名、JLP 非常勤講師 1 名、計 15 名が参加予定であった。

2-3 応募状況・受講（予定）者に関する統計

A. 応募者内訳（カッコ内前年度）

応募者	89 (100)		
辞退者（スクリーニング前）	20 (9)	* 合格者	42
合格者*	42 (91)	SCJ スクリーニング対象外	20
不合格者	7 (0)	合格後辞退者（3/26 時点）	45
SCJ スクリーニング対象外*	20	受講予定者（3/26 時点）	17

B. 合格者内訳 (SCJ スクリーニング対象外含)

① 参加区分別

	男	女	計
一般受講者 *	9	10	19
ICU 教職員・家族	2	2	4
教育交流プログラム **	19	20	39
合計	30	32	62

* 〈内訳〉 JICUF, J Live Talk 受賞者、GLAA 加盟校、SCJ 提携校、9 月以降本科生、研究生

** 〈内訳〉 (アルファベット順) 〈SCJ のみ〉	男	女	計
The University of British Columbia	1	1	2
Grand Valley State University	1	0	1
Hong Kong Baptist University	0	1	1
University at Buffalo (SUNY)	3	2	5
University of California	11	10	21
(小計)	(16)	(14)	(30)
〈OTR/OYR***〉			
University of Pennsylvania	0	1	1
Rutgers University	0	2	2
University of California	3	3	6
(小計)	(3)	(6)	(9)
合計	19	20	39

***OTR は 1 学期のみの学生、OYR は 1 年本科生。

② 国 / 地域 (アルファベット順)

Australia	1	UK	2	USA/Japan	2
Canada	1	UK/Japan	1	USA/Switzerland	1
China	11	USA	31	USA/Turkey	1
Hong Kong	1	USA/Hong Kong	1	USA/Mexico	1
Korea	1	USA/Taiwan	1	Vietnam	1
Syria	2	USA/Taiwan/China	1		
Taiwan	1	USA/Vietnam	1		

TOTAL: 62

3. スタッフ

Mark Williams	国際学術交流副学長 グローバル言語教育研究センター長
金山 泰子	夏期日本語教育主任
澁川 晶	夏期日本語教育教務主任
保坂 明香	夏期日本語教育文化プログラム担当
小宅 直樹	グローバル言語教育研究センター事務室業務担当
卯野 夏樹	グローバル言語教育研究センター事務室業務担当
林 久美	グローバル言語教育研究センター事務室業務補佐
池田 亜紗	グローバル言語教育研究センター助手
張 名瑤	グローバル言語教育研究センター助手